

第 157 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 30 年 2 月 2 日 (金) 14:00～17:00

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委員長 大谷 (日大)

委 員 河村 (アンリツ), 布施 (電中研)

古川 (横河), 望月 (三菱電機), 松村 (日大)

水野 (麻) (NICT)

幹 事 作本 (日大), 今池 (日大)

幹事補佐 白井 (日電検)

資 料

157-1 第 118 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会報告

157-2 平成 30 年度 計測技術委員会活動計画三次案

157-3 平成 30 年度 研究会開催予定三次案

157-4 平成 29 年度 計測技術委員会 活動状況

157-5-1 計測研究会開催案内 (12 月開催分)

157-5-2 光応用・視覚 計測合同研究会開催案内 (2 月開催分)

157-5-3 計測研究会開催案内 (3 月開催分)

157-6 平成 30 年度 A 部門大会テーマ付きセッションの募集

157-7 基礎・材料・共通部門活動資金申請書

157-8 平成 29 年度優秀論文発表賞候補者

157-9 学会カレンダー

157-10 平成 30 年 1 月号執筆料の寄付について

157-11 第 10 回テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会議事録
計測技術委員会委員名簿

議 事

1. 議事録の確認

以下修正のうえ承認された。

P.2L.3 それぞれの担当領域→担当領域 P.2L.35 4 月→5 月

2. 研究調査運営委員会

代理出席した白井幹事補佐より資料 157-1 に基づき以下の報告があった。

- ・ 研究会での参加費徴収が可能になった。
- ・ 研究会開催の補助費が 3 万円を超える場合は運営委員会の承認のうえ補助可能であるが、申請が通るとは限らない。(現状は 1 日当たり 3 万円までは補助有り)
- ・ 研究会資料の pdf 版頒布が決定した。頒布の形式や研究会当日分の扱いは未定。

3. 平成 30 年度計測技術委員会活動計画三次案

作本幹事より資料 157-2 に基づき説明があった。

- ・ 6月（電磁波計測）は6月末実施.
 - ・ 7月（センサ応用計測）は京都.
 - ・ 10月の見学会は4月の委員会で決定する.
 - ・ 7月の委員会（一次案）で研究会開催数を1回減らし全5回とする.
4. 平成30年度計測研究会開催予定三次案
 作本幹事より資料157-3に基づき説明があった.
 平成31年2月は電子情報通信学会（PEM）との連催とする.
5. 平成29年度計測技術委員会活動状況
 資料157-4に基づき説明があった.
 テラヘルツ調査専門委員会第12回を2月に実施予定.
 平成29年度研究会件数は53件となる予定.
6. 開催済みおよび開催予定の研究会
 資料157-5-1~3に基づき説明があった.
7. 平成30年度A部門大会テーマ付きセッションの募集
 大谷委員長より資料157-6に基づき説明があった. 昨年度同様応募しないこととした.
8. 基礎・材料・共通部門活動資金申請書
 大谷委員長より資料157-7に基づき説明があった.
 特別講演を産総研の飯田仁志氏に依頼する. 水野（麻）委員から6月29日候補で打診.
9. 平成29年度優秀論文発表賞候補者
- ・ 大谷委員長より資料157-8に基づき承認結果が報告された. 平成30年度A部門大会で表彰式が実施される.
 - ・ 論文発表賞の割当数に対して, 35歳以下の論文数が多いマグネティクス技術委員会より意見があり, A賞・部門表彰の割当数に関して今後検討することが報告された. マグネティクスでは特別賞を用意し, 学会が費用負担する.
10. 学会カレンダー
 大谷委員長より資料157-9に基づき計測技術得委員会と関連のある2会議(I2MTC2018, CPEM2018)を学会カレンダーに掲載したと説明があった.
11. 平成30年1月号「計測技術における研究開発の動向と最前線」執筆料の寄付
 大谷委員長より資料157-10に基づき, 著者からの執筆料寄付について報告された. 2018年2月実施の光・視覚, 計測合同研究会の意見交換会費用の一部として使用する.
12. 第10回テラヘルツ波を用いた非破壊検査技術調査専門委員会議事録
 資料157-11に基づき布施委員より説明があった.
 技術報告は各担当委員より2月に出そろい, 解散は3月. 4月の技術委員会および, 5月18日の運営委員会で解散報告をする予定.

次回予定 日 時 平成30年4月20日（金）14時 場 所 未定